

広島県における令和 7 年国勢調査広報業務
公募型プロポーザル選定委員会 議事要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和 7 年 7 月 7 日 13 時 30 分から 16 時 30 分まで
2	場 所	県庁本館 3 階東側協議室
3	出席委員	・総務局統計課長（委員長） ・総務局統計課統計調査担当監 ・総務局広報課デジタル・ディレクター（代理：広報課主査） ・環境県民局消費生活課長 ・警察本部生活安全部生活安全総務課長（代理：生活安全総務課係長）
4	議 題	企画提案内容の審査及び最優秀提案者の決定について
5	担当部署	総務局統計課
6	開催方法	参集
7	議事内容	提案された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査した結果、最も高い評価値を得た C 社（株式会社中国新聞アド）を最優秀提案者として決定した。 なお、各提案者に対する主な意見は次のとおり。 《提案者ごとの主な評価・選定理由》 【A 社：株式会社中国四国博報堂】 ・広報計画のバランスが良く、特に若年層を対象とした提案は広報効果が期待できる ・広報モデルの広島県民への訴求力が未知数 ・多様な提案があったが、全体的にすべて実現可能かが疑問 ・目標達成に向けて、各手法がどの程度行動変容につながるかという指標構造の目論見が不明瞭 【B 社：株式会社讀賣連合広告社】 ・独自アンケート結果を踏まえ、県民が安心して調査に回答できるよう広報に必要な内容が具体的に提案されている ・国広報との調和を考慮した提案は評価できるが、広報モデルの訴求力、コンテンツの独自性は弱く感じた ・その他独自提案について、一般的な広報以外の効果的企画の提案がなかった ・提案された各手法が、どのように目標達成につながるか根拠が不明瞭 ・ファミリー層、一人世帯など、世代別、年代別の訴求効果（回答率向上）の設定根拠が不明瞭

	【C社：株式会社中国新聞アド】 ・他社に比べて目標達成に向けた根拠が明確で、各手法の提案の納得度が高い ・地元マスメディアとタイアップした効果的な取組が期待できる ・企画提案内容に、世代別に訴求効果が期待できる工夫がなされている ・独自提案のメディアを使った広報企画や広報モデルを見ると、若年層に対する訴求力が他社の提案に比べて弱く感じられたため、各提案内容の若年層への訴求力を確認し、県と調整を行う必要があると考える 【D社：株式会社中国新聞社】 ・広報計画のバランスが良く、幅広い世代への訴求が期待される ・過去の取り組みで効果のあった広告手法を提案するなど工夫がみられた ・広報モデルの県民知名度や、訴求効果が不明瞭 ・提案された各手法が、どの程度目標達成につながるか根拠が不明瞭 ・一部提案内容について、天候等による実現性に不安がある
--	--